

職員による自己評価

A業務改善

- ・保護者が意向を出しやすい工夫や意向の検討方法の再考について意見がある。
- ・外部研修への参加が難しい（費用＋時間）。
- ・職員同士が悩みを共有できる場の開催。

B適切な支援の提供

- ・クラス、主任や園長と内容を確認している。
- ・職員個人による違いを客観的に分析できていないことがある。
- ・振り返り等は時間確保が課題。

C関係機関との連携

- ・必要に応じて関係機関と連絡を取っている。
- ・関係機関や他部署との連携についてもっと目を向けられることが必要。
- ・移行支援は、保護者記入のサポートブック作成支援や申し送り訪問等を行っている。

D保護者への説明責任等

- ・個別支援計画等で支援内容を保護者に説明し確認ができています。
- ・保護者同士の連携の支援は機会があるが、積極的に連携を図ることはできていない。

E非常時等の対応

- ・防犯マニュアルの共通認識が不足。
- ・服薬等の事前情報の取得の意識を高める必要がある。

保護者による評価

A適切な支援の提供

- ・個人に合わせた計画、支援がなされている。
- ・熱中症防止のため室内遊びが教室だったのが物足りなかった。

B保護者への説明等

- ・丁寧な説明で目的がわかりやすい、一方、計画との対比の説明がないとの意見がある。
- ・連絡帳の回答が励みになる。
- ・クラスの様子を知り、子どもの新たな一面を知ることができた。活動の様子などの詳細を知りたいとの意見もある。
- ・保護者同士の連携とまでないかないとの意見がある。
- ・英語に翻訳してくれてありがたい。

C非常時等対応

- ・概ね緊急時対応の説明は受けていると評価。
- ・登園日ではない時に防災訓練しているのでわからないという意見がある。

D満足度

- ・多くのお子さんが通所を楽しみにしているという評価をいただいた。
- ・次年度以降の支援について見通しができず不安を感じるという意見がある。
- ・保育時間の延長を希望する意見がある。

通園課内での分析

【共通点】

- ・子どもへの適切な支援の提供は実施されている。
- ・子どもへの支援内容が説明され、職員と保護者で確認ができています。
- ・保護者同士の連携までには至っていない。
- ・非常時の対応の説明は受けているが、実際に避難訓練ができていないクラスがある。

【相違点】

- ・職員は活動プログラムが固定化されないように工夫をしているつもりだが、保護者から似たような活動が多いという意見がある。

分析・検討してみて…

通園課の強み

- 個別支援計画を基に支援がなされている。
- 保護者に子どもへの支援を丁寧に説明し、内容を確認している。
- 子どもへの支援内容は、個々の状態に合わせた取り組みを行っている。
- 運営や緊急時対応等について、説明が実施されている。

通園課の改善点

○保護者への伝え方の工夫

- ・個別支援計画の計画と実施内容については記載していますが、丁寧に経過を説明していきます。
- ・個人情報保護に留意しながら保育の様子等を幅広く伝える機会を作ります。
 - ①単独通園の保護者向けにおたよりに写真を載せる等してわかりやすく保育内容を伝えるように工夫します。
 - ②通園利用をしていない保護者に知っていただくために通園のおたよりをセンター内に掲示することを検討します。進路選択を考える上でもイメージが持てるのではないかと考えます。

○週1クラスの避難訓練の実施

- ・避難訓練を経験がどの通園でもできるように避難訓練週間を作ること検討し、訓練に取り組みます。訓練内容を保護者に伝えていきます。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

今年度も、たくさんのご支援と協力をいただき、本当にありがとうございました。今回のアンケートでは、たくさんの高評価をいただいたことをとても嬉しく思います。私たちは日常的に保護者の皆様にお伝えしたいことがたくさんありますが、しっかり届けることができていないと反省しています。どんなやり方ならば、少しでもお伝えできるのか職員皆で考えていきたいと思っています。これからも保護者の方やお子さんたちにご満足いただけるような支援を考え、取り組んでいきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。